



益子研一
営業部長

平野ロジスティクス(本社=神戸市、田中英治社長)は、大型トラックよりULD3コンテナを7台多く搭載できる「+7」を、トレーラー車「+7」も同じく8台多く搭載できる「+8」を活用して羽田-成田間のO/LT需要に対応する方針だ。平野ロジスティクスの益子研一営業部長兼関東支店長は

「+8」は9月にドイツで開催されたIAA国際モーターショーでも披露された。日本においては来年1月の運行開始を予定している

「+7」は、トレーラー部分の上部に96パレット4台もしくはULD3コンテナ8台を搭載できる。下部にはULD3コンテナ5台を搭載する

「+7」より多くのULDを搭載できるメリットを生かして、お客さまのコスト削減、環境負荷低減に貢献することにも、首都圏空港の一体運用の円滑化を図ることだ。益子研一は「+7」は、トレーラー部分の上部に96パレット4台もしくはULD3コンテナ8台を搭載できる。下部にはULD3コンテナ5台を搭載する

「+8」は、トレーラー部分の上部に96パレット4台もしくはULD3コンテナ8台を搭載できる。下部にはULD3コンテナ5台を搭載する

「+7」「+8」を有効活用

平野ロジスティクス コスト・環境負荷の低減を

は縦位置で搭載できるが、最後に搬入する1台は横位置での搭載となっている。トレーラーの延長により、5台も縦位置で搭載が可能になり、ULD搭載作業が効率化された。

一方、平野ロジスティクスは現在、「+1」を10台、「+2」を2台保有している。「+1」は首都圏中部、関西といった長距離のO/LT、「+2」は羽田-成田間のO/LTを中心に投入している。同じ羽田-成田間のO/LTにおいても、コンテナ対応に重点を置いた「+7」に対して、「+8」はパレット対応に強みがある。運行路線、ULDの形状、顧客のニーズに応じてトレーラーの使い分けが可能であることが特色だ。

平野ロジスティクスは需要を踏まえて「+2」の増車を計画している。また「+1」については11月に1台、12月に1台の計2台を増車。既存車両と併せて12台体制とする計画だ。11月に導入する「+1」は静岡営業所(静岡県袋井市)に配備。12月に導入する「+1」は関西支店に配備する。

新しい輸送の形を提案 OLT Innovator, Hirano Logistics

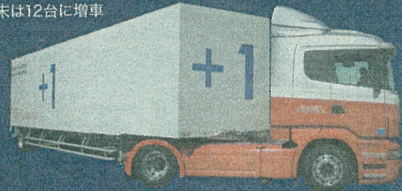
成田⇄羽田
好評運行中!

+8 Coming soon!!

バリー貨物専用車両 +7 (プラスセブン)



+1 (プラスワン)
ULD4枚積みセミトレーラー
10台体制で運行中
年度末は12台に増車



+2 (プラスツー)

ULD5枚積みフルトレーラー
2台体制で運行中



- 2台以上の貨物を1台で運べ、顧客の輸送コストを削減
- 環境負荷も低減(CO₂ 60%カット)
- ULD3コンテナ換算で13台を搭載、従来搭載数に比較してプラス7台

365日24時間の
営業体制

トレーラーを含めて
全ての車両をGPSにて管理

セキュリティや航空保安に精通した
スタッフがご対応

全ての車両が
ローラーベッド仕様です

96空調車
も運行中!



航空貨物輸送のバイオニア
株式会社 平野ロジスティクス



http://www.hirano-logistics.com

本社 078-994-0069
中部支店 0569-38-7208

関東支店 0476-35-3600
関西支店 072-463-7455

東京営業所 03-6382-7768
神戸営業所 078-965-0918

東海支店 0538-42-9480
福岡営業所 092-586-8915